



むかしのまち並みにズームイン！



A



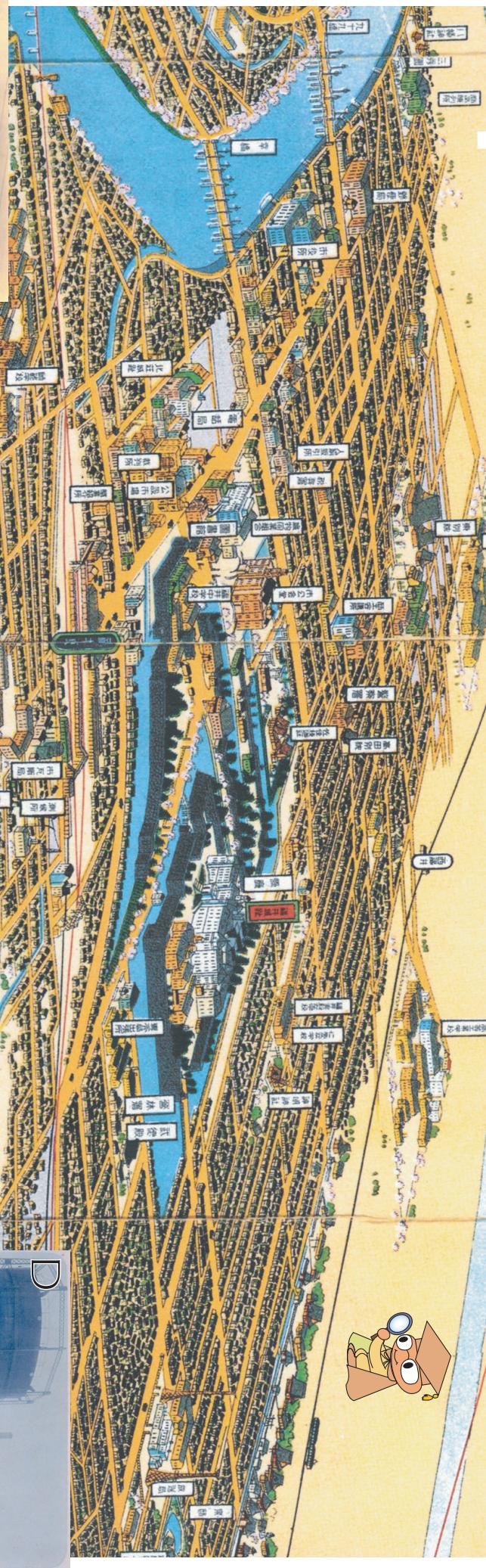
1

展示室には、この絵と同じ頃の福井にあった、いろいろな建物の写真があるよ。A～Dはこの絵の中のどのへんにあるかな？さがしてみよう！

C



B



2

この絵はいつごろの風景か、わかるかな？展示室にある4つの地図と見比べながら、考えよう。

ヒント：町の中心の、昔のお城のお堀の形や、たつている建物をよくみてね。

ア. 明治5年～31年 イ. 明治31年～大正15年 ウ. 大正16年～昭和12年 ク. ごたえ



D



下の絵は、むかしの福井のまちの様子を描いたものなんだ。今とずいぶん様子がちがうね。

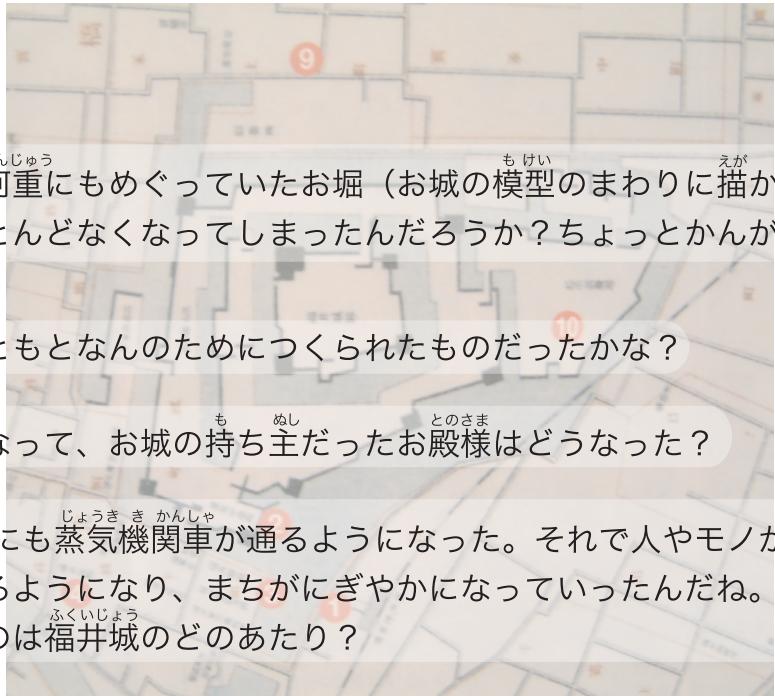


てんじしつ
展示室のなかには、いくつかの福井のまちの地図・写真があるね。それらを観察しながら、いまの福井のまちがどのようにできていったのか、考えてみよう。



1 お堀に注目！

えどじだい
江戸時代には、お城のまわりを何重にもめぐっていたお堀（お城の模型のまわりに描かれているね）。どうして今では、ほとんどなくなってしまったんだろうか？ちょっとかんがえてみよう。



➡ ヒント1：お城のお堀はもともとなんのためにつくられたものだったかな？

➡ ヒント2：明治の世の中になって、お城の持ち主だったお殿様はどうなった？

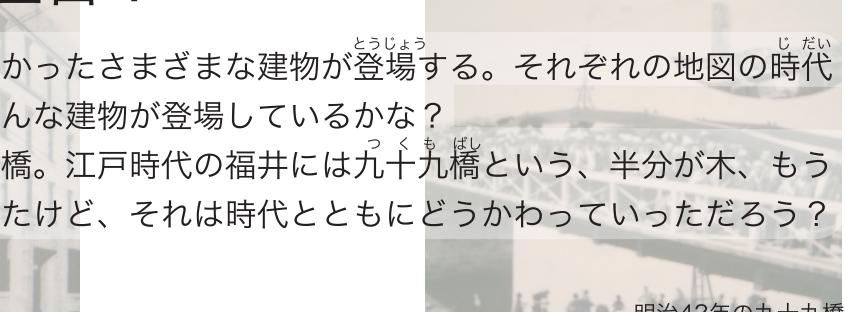
➡ ヒント3：明治29年に福井にも蒸気機関車が通るようになった。それで人やモノがさかんに行き来するようになり、まちがにぎやかになっていったんだね。その駅ができるのは福井城のどのあたり？



2 たてもの・橋に注目！

まちはってん
町の発展とともに、それまでなかったさまざまな建物が登場する。それぞれの地図の時代には、それまでみられなかったどんな建物が登場しているかな？

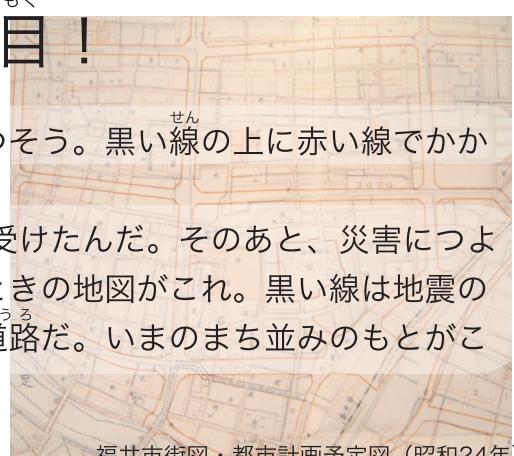
それから、よく見てほしいのは橋。江戸時代の福井には九十九橋という、半分が木、もう半分が石でできた珍しい橋があったけど、それは時代とともにどうかわっていっただろう？



3 地震のあとでのまちづくりに注目！

かんさつ
観察の場所を、戦争や地震の災害の後のコーナーにうつそう。黒い線の上に赤い線でかかれた地図があるはずだ。

昭和23年、福井のまちは大地震でとても大きな被害を受けたんだ。そのあと、災害につよいまちにつくりなおそうという計画がたてられた。そのときの地図がこれ。黒い線は地震の前の古いまち並み、赤い線はこれからつくり直す計画の道路だ。いまのまち並みのもとがこのときつくられたことがよくわかる。



福井市街図・都市計画予定図（昭和24年）

しらべてみよう！

『ふるさとの思い出写真集 明治・大正・昭和 19 福井』

『目で見る福井・坂井の100年』

『福井の百年』

どの本も古い写真がたくさんのっています。図書館で借りることができます。昔の様子をしらべてみよう！

